

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則に従って行う。

2 競技者の招集について

- (1) トラック競技の点呼場所は 100m スタート地点の後方とする。フィールド競技の点呼場所は、当該競技のピットとする。
(2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30 分前	15 分前	走高跳・走幅跳・投てき 棒高跳	30 分前 45 分前	15 分前 30 分前

- (3) 点呼方法 ※トラック競技は、組により点呼時刻が異なるので十分注意すること。
トラック競技の点呼……競技者係の所に集合し点呼を受ける。
フィールド競技の点呼……直接現地に集合して点呼を受ける。

(4) トラック競技の招集方法

- ア. トラック競技に出場する競技者は、出場種目の招集開始時刻がきたら、招集場所にて自分のナンバーカードを競技者係に見せ、チェックを受ける。
イ. 点呼を終えた後も招集所を離れないこと。移動は競技者係の誘導による。
ウ. 他競技に出場の競技者については、競技者自身または監督により、その旨を競技者係およびその競技の審判員に申し出て出場を許可してもらう。
エ. 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権（きけん）したものとみなす。
オ. 四種競技については、それぞれの種目ごとに点呼を受けること。

3 トラック競技について

- (1) 同じ種目でも、組によって招集時刻が異なるので注意する。
(2) トラック競技の出場者は、各チームで用意した腰ナンバー標識をユニフォームの右腰やや後ろにつける。但し、中長距離種目の 9 レーン以降の腰ナンバーカードは競技者係より受け取ることができる。
(3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
(4) リレーのオーダーは、1 組目招集完了時刻の 60 分前までに競技者係に提出するものとする。時間までに提出されない場合は、棄権とみなす。
リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものを使用すること。
(5) トラック競技の準決勝・決勝の走路順は本部抽選とし、記録速報掲示板の番組編成欄に掲示する。結果については、速報掲示板に掲示する。
(6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001 秒以上の差が認められれば、着差ありとして決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には、本部での抽選によって決定する。
(7) 800m 予選と 3000m タイムレースは、階段スタートで行う。
(8) 2・3 年男子 1500m 決勝、女子 1500m 決勝は 16 名で行う。
男女の 800m 決勝は 2 組とし、A 決勝が予選 1 着プラスタイム上位者。B 決勝が残りのプラス進出者とする。但し、表彰については A 決勝の順位で決定する。
(9) 男女学年別 100m、男女 200m、男子 400m、男子 110mH、女子 100mH 決勝は、予選の結果により上位 8 名による A 決勝と、9 番目から 16 番目による B 決勝で行う。但し、表彰については A 決勝の順位で決定する。
(10) 男子 3000m は、タイムレース決勝とする。
(11) 2・3 年男子 1500m は 4' 45、1 年男子、女子は 5' 10。3000m は、10' 25 以内で最後の 1 周を通過しなければ、競技を中止させることもあり得る。

4 フィールド競技について

- (1) 走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。
男子（練習 1m35）1m40（以後 5 cm 上がり）1m60 以後 3 cm 上がりとする。
女子（練習 1m15）1m20（以後 5 cm 上がり）1m40 以後 3 cm 上がりとする。
四種競技 男子（練習 1m25）1m30（以後 5 cm 上がり）1m40 以後 3 cm 上がりとする。
女子（練習 1m05）1m10（以後 5 cm 上がり）1m20 以後 3 cm 上がりとする。
(2) 棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。
（練習 1m60）1m80 以後 10cm 上げ（出場者の状況、天候などによる変更あり）。
(3) 走幅跳は予選を行う。予選通過標準記録は下記のとおりとする。
男子 走幅跳 5m30 女子 走幅跳 4m20
通過記録を超えた者が 12 名に満たない場合は、上位から 12 位及び 12 番目と同順位の選手を決勝に出場させる。
(4) 走幅跳の予選および走高跳は A・B ピットを使用する。走幅跳予選の試技は 2 本とする。
(5) 走幅跳、砲丸投における計測ラインは下記のとおりとする（当日の天候などによる変更あり）。円盤投げは全て計測する、
男子 走幅跳 4m00 砲丸投 6m00
女子 走幅跳 3m00 砲丸投 6m00

5 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは 9mm 以内とし、走高跳は 12mm 以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は 11 本以内とする。
(2) トラック種目の靴底の厚さは、20 mm 以内とする。
(3) フィールド種目の靴底の厚さは、20mm 以内とする。

6 公開練習・ウォーミングアップ場所について

- (1) 競技場は2日とも7:00～8:30まで開放する。8:30～9:00は機材準備のために閉鎖する。
- (2) ウォーミングアップは、指定された場所で行い、安全に留意すること。
- (3) 競技開始後(9:00以降)は、進行中の種目に応じ、バックストレート、ホームストレートの一部、フィールド(芝部分)を開放する。
- (4) ウォーミングアップのために開放する場所については放送(アナウンス)にて連絡する。
- (5) フィールド(芝部分)を開放する場合の入退場口はバックストレート中央の1か所(掲揚ポール前)のみとする。接触事故防止のため、その他の場所からの入退場はしないこと。競技進行の妨げにならないように、トラック横断時には細心の注意を払うこと。
- (6) ウォーミングアップのために開放する場所では、それ以外の目的(休憩や待機、応援など)のために留まることを禁止する。
- (7) リレーの練習で使用したマークは、各団体が責任をもって処分する。自分のゴミは持ち帰ること。(ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。)
- (8) 競技場に練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。(棒高跳のポール、リレーのバトンを除く)
- (9) リレーのバトンについては、バックストレートのみ使用可能とする。なお、朝の公開練習については全ての場所で使用可とする。

7 その他

- (1) 8位までの入賞者には賞状を授与する。表彰式は実施せず、大会本部にてチームの引率者が代わりに賞状を受け取る。
- (2) 競技者以外の者は、絶対に競技場内に立ち入らないこと。(特に、本部前、フィニッシュ付近は通行禁止とする。)
- (3) スタート・フィニッシュ付近では、静かにする。
- (4) 競技の進行上、競技開始時刻などに変更が出る場合もあるので、放送を聞きもらさぬように注意すること。
- (5) 競技場に練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。(棒高跳のポールを除く)
- (6) テント等を設置する場合は、自校の割り当てられた場所のみ可能とするが、風で飛ばされたりしないよう十分注意すること。(雨天などで対応が必要な場合は、当日指示する。)
- (7) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (8) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意すること。
- (9) 競技規則第145条2及び第162条5の適用により警告を2回受けた競技者は失格とし、この競技会における以後の全ての種目に出場できなくなる。
- (10) 雷雨や競技続行不可能な際の緊急避難に関する場合は、アナウンスで連絡するので指示に従うこと。
- (11) 生徒保護の観点から試合内容のYouTubeを含むSNSへの掲載を禁止する。

8 観客(保護者)の来場について

- (1) 観戦者(保護者)の入場は8:00以降とする。
- (2) 場内の駐車場は競技役員専用となるため、観戦者(保護者)の駐車はできない。
- (3) 来場する場合はできる限り公共交通機関を利用すること。自家用車で来場する場合は近隣の有料駐車場を利用すること。競技場周辺での路上駐車、無断駐車は絶対にしないこと。
- (4) 大会本部および円山陸上競技場は、いかなる事故、トラブルにも責任を負わない。
- (5) 観戦できる場所は「スタンド席」のみとする。
- (6) 芝スタンド、招集所、大会本部など、選手及び競技役員が使用する場所への立ち入りを禁止する。
- (7) 観戦者(保護者)の出入り口は、北小ゲートおよび南小ゲートのみとする。保護者が利用できるトイレは、北大ゲート(100mゴール側)トイレのみとする。
- (8) 競技場内においては競技役員および大会本部の指示、場内表示に従うこと。
- (9) 肖像権保護および盗撮防止の視点により、子以外の写真およびビデオ等動画の撮影は控えること。撮影できる場所は、メインスタンド席のみとする。
- (10) トラック種目のスタート時および準備動作中に撮影することはできない。
- (11) 望遠レンズやフラッシュ撮影、赤外線撮影装置を利用した撮影、およびドローンによる撮影を禁止する。三脚や自撮り棒を使用しての撮影は、他の観客の迷惑になる場合があるので配慮すること。
- (12) 競技と関係のない目的での撮影、身体の一部をアップしての撮影、透過撮影、その他迷惑行為を禁止する。競技場内で撮影した全ての画像、動画は、大会本部にて確認させていただく場合がある。
- (13) 撮影した画像、動画の販売および営利目的の利用を禁止する。
- (14) 競技者および競技者の保護者等の承諾を得ずに撮影したり、撮影した画像、動画をWeb上にアップロードしたりすることを禁止する。